

大阪南ロータリークラブ会報

第 792 号
2024 年 2 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11
マルニビル7階B
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 センタラグランドホテル大阪 3 階
会 長 中村 剛 幹 事 山本 和良

第 3 回クラブフォーラム

職業奉仕部門

日 時：2024 年 1 月 23 日 (火)
午後 17 時 30 分登録、午後 18 時 00 分開会
場 所：ホテル日航大阪 7F「フォントナ」
中央区西心斎橋 1-3-3 ☎ (6244) 1111
討議部門：職業奉仕部門
形 式：バズセッション

Dテーブル ◎米田秀、寶來、伊倉、小林豊、
新開、武田太、寺本、由谷
Eテーブル ◎米倉、藤井、福本、長谷川孝、
小松、岡本、大熊
Fテーブル ◎島本、相川、原田、伊藤勝、
城戸、栗原、中島、寺川
Gテーブル ◎下井、下條、橋本、木本、西本、
田村、上村、八ッ橋
Hテーブル ◎岩崎、青山、江頭、木村、岸上、
鮫島、佐藤元、山岡、藪内

議 題：

- ① 職業奉仕委員会での過去～現在まで実施してきた「出前授業」「職場見学会」や今年度実施の「中学生職場体験」など、今後も継続実施するべきか。
また、継続実施するのであれば、どのような改善が必要か。
- ② 新たに事業を行う場合の実施策について

出席者（敬称略 順不同） 63 名

◎テーブルマスター

Aテーブル 中村、天野、澤村、鈴木慶、

草島、三原、久我、森

Bテーブル ◎岩谷、入江、小畑、河野、

小八木、小林二、小椋、山本和

Cテーブル ◎大桑、堀、持松、岡村、

庄司、谷村、横山慶



1、開会挨拶：中村会長

皆様こんばんは。例会に引き続き長時間有難うございます。本日は 63 名の方々に集まって頂きました。ロータリークラブは当初男子の職業人の集まりでしたが、時代の流れとと

もに学生や主婦の方も入会して頂けるようになりました。今までは職業を通して事業活動していけば良かったのですが、会員の多様化に合わせて今後どのように活動していくのか、これからの職業奉仕について楽しく活発な議論をお願いしたいと思います。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

2、テーブルマスター指名：山本和幹事



3、初参加の新入会員紹介

西本 龍二会員、佐藤 元相会員、
谷村 一行会員



4、ゼネラルリーダー議題説明：

岩谷職業奉仕委員長

今回のフォーラム議題に関する説明がなされた。



3、キーノートスピーチ：鈴木慶元会長

今日は職業奉仕の成り立ちのお話をさせて頂きたいと思います。クラブの定義とは「共通の目的によって集まった人々の団体」だそうです。1905年シカゴで初めてロータリークラブが誕生しました。この時の目的が

- ①クラブメンバーの事業利益を増大すること
- ②社交クラブに付随する親睦その他の必要事項を推進する

この2つだけです。

ロータリークラブは「クラブメンバーの事業利益を増大すること」が主たる目的でありました。当時、非常に世相が乱れてモラルが低下していたので、安心できる相手と取引をしたいということでクラブを作ったのがそもそもの始まりです。同業者の軋轢を失くすために「1業種1会員制」というルールがあります。その業種が埋まっているとそのクラブには入れないので、ロータリークラブのステータスが上がり、会員増強にも非常に役に立ちました。新しいロータリークラブが出来ることでまたロータリークラブの価値が上がり信用も得ていったようです。

ロータリークラブには職業奉仕の中から出てきた言葉がたくさんあります。「経営学と

は最もよくサービスするものが最も大きな利益を生む」という商売上の理念がありますが、これが徐々に変わっていくわけです。

他には「4つのテスト」というものがあります。会社が潰れそうになった人にテイラーさんが経営の考え方として提案したのが「4つのテスト」です。「真実（誠実）であるか？」「関係者全員に対して公平であるか？」「店の信用と親睦をお客様と繋ぐことができるか？」「関係者全員が利益を得るような取引か？」この4つのテストは1942年RIに譲渡され、商売上の実利的な話が徐々に仕事と関係ない表現に変わっていきます。ロータリークラブはキリスト教の影響がかなりあると思います。実利的な言葉が、「人道主義」「奉仕」という言葉に置き換わっていきました。現在の方針については先週岩谷委員長が素晴らしい卓話をされましたので、私はここまでにしておきたいと思います。最後に少し違う話をして終わりたいと思います。世の中の有名な経営者の事を調べた本がありまして、彼らにどんな共通点があるかと言いますと、趣味はお茶に行きつき、事業は教育関係、人材育成の方に行きつく。そして私が一番感動したのは、みんな間違いなく宗教心があるという事です。宗教心というのは、宗派ではなく、ご先祖様に対する敬愛、感謝など心の中の宗教心を大事にされているということです。また私が会長の時、天野元会長に職業奉仕の担当をして頂きました。天野元会長が当時のクラブフォーラムで高田郁さんが書かれた小説「銀二貫」の話をされました。その小説の中に出てくる言葉が「始末」「才覚」「神信心」です。私はこの言葉が大変胸に残っております。この場をお借りして天野元会長に御礼を

申し上げたいと思います。ぜひ皆さんも「始末」「才覚」「神信心」を心に留めて頂きながら今後の活動に邁進して頂きたいと思えます。ご清聴有難うございました。



4、乾杯：天野 元会長

「鈴木元会長の時に職業奉仕の担当をしておりました。鈴木元会長もおっしゃった通り、発足時の目的と違ってきているので、綺麗事ではない、地に足のついた職業奉仕の議論をして頂きたい」とのコメントののち、乾杯に移った。



6、テーブルマスター報告（発表順の通り）

Hテーブル：岩崎国際交流委員

議題①

「出前授業」については、公立は受入れが難しいが私立の方が受け入れてもらいやすい。

生徒も講師も毎年変わるので、継続で良いのではないかと。弁護士、税理士など専門職の授業が良いのではないかと。あと「経営」を教わる機会がないので、経営者の方と実際に話をして聞く機会があった方が良いのではないかと。

「職場見学会」に関しては、社会見学の場所として青山会員より竹中大工道具館を推薦する意見がありました。



Gテーブル：下井国内社会奉仕委員長

課題①

前提として、どんな職業であれ、社会の役に立っており、役に立っていない職業は見つからない。どんな職業でも収入を得て納税することが社会を良くする。

「出前授業」「職場見学会」については、今後も継続した方が良いでしょう。お医者さんの話を聞いたり、弁護士の先生に裁判所に連れて行って頂くのはどうか。「出前授業」は城南学園小学校にしか行っていませんので、間口を広げて他の小学校にも行ってはどうか。

課題②

業種の説明だけでなく、例えば営業マンが営業を教えるとか、金融リテラシーを教えるとか、「私を語る」的な普段どんな仕事をし

ているかという経験談を話すのも子どもには興味を持ってもらえるのではないかと。



Fテーブル：島本国内社会奉仕委員

課題①

「出前授業」は続けた方が良いでしょう。その方法について色々な意見が出ました。清風学園や興國高等学校のインターアクトクラブと一緒にロータリーファミリーとして活動を展開してはどうか。トラディショナルなテーマが多いので、AIや生命科学などが関心を持ってもらえるのではないかと。現在テーマは1つですが、オンラインを使えば複数のテーマを一斉に授業できるのではないかと。

課題②

会員同士で互いの職業を紹介しあって、相互研鑽に繋げるのはどうか。「職場見学会」に娯楽も入れて、家族見学会として広げてはどうか。

最後に2つのキーワードの意見が出されました。

一つ目「どうせ教えるなら若い子に夢を。

夢のある間に教えたい」

二つ目「まず自分の仕事をしっかりせい」以上です。

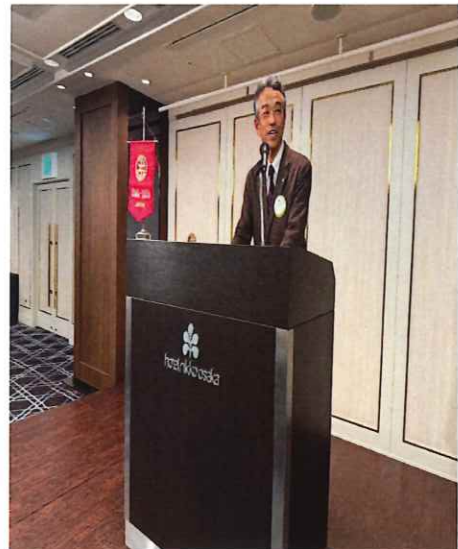


Eテーブル：米倉職業奉仕委員

まず経営者の資質と高潔性が大切だとの意見が出ました。

また子どもは両親や身近にある仕事しか知らないので、「出前授業」で社会への興味を持ってもらいたい。そしてロータリーで話せる「メニュー」を作って選んでもらうのはどうか。仕事というものはお金の為だけではない、仕事のやりがいやロータリーの高潔性も伝えていきたい。給料や休みとか残業がどうかの話もあるでしょうけど、一生懸命に働いている姿を子供たちに見せる、そのあと子供たちが後になって有り難かったと思えるベーシックな教育として職場見学を位置付けたい、そのような意見が出ました。

「職場見学会」は見るだけでなく、従業員がどんな気持ちで働いているか従業員の話を聞く機会があっても良いのではないかと。



Dテーブル：米田秀職業奉仕委員

議題①

「出前授業」は城南学園小学校にどのように受け止められているのか確認してから、今後の話をする方が良いのではないかと。子ども達に夢を持ってもらう、仕事の社会的意義を考えてもらうという目的があると思う。城南学園だけで継続されてきたことは、それはそれで意味はあると思う。

議題②

「出前授業」は1つの業種ではなく、4つ程度業種を用意して生徒さんに選んでもらうのはどうか。

「職場見学」では学校側とロータリー側の期の変わり目に留意する必要があるが、複数年でやり続けることによって意味が出てくるとの意見が出ました。

やがて職業奉仕の話から長谷川会員の戦争体験の話に及び、そこから日本の教育を立て直すべきだとの話題にまで広がりました。



Cテーブル：大桑職業奉仕副委員長

議題①

「出前授業」は全員に影響を与えなくても一人でも心に残れば意義があるので、継続して欲しい。「職場体験」については、体験する事が一番子どもの心に残りやすいのではないかと。YouTubeなどで職場を閲覧できたとしても、やはり実際にその場をリアルに体験することには及ばないと思う。今後も継続して欲しい。

議題②

「職場見学会」を家族会と一緒にして、会員の子どものや従業員の子どもの体験を増やす場としてはどうか。

Bテーブル：岩谷職業奉仕委員長

議題①

「出前授業」は現在対象が城南小学5、6年生ですが、中学生の方が職業意識も高まるので対象年齢を上げたらどうか。「文部科学省のアンケート調査でほとんどの学校が職場体験を行っているので、ロータリーでしなくても良いのでは？」という意見もありましたが、「医師の出前授業を聞いて職業を考えるきっかけになり、その後実際に医師になられた方もいるのでロータリアンで出来ることもあるはず」という意見も出ました。

議題②

- ・子どもの人材育成も大事だが、ロータリアン自身の職業奉仕としての気付きを得ることも大事である。会員同士の会社訪問をすれば刺激になって良いのではないかと。
- ・職業奉仕委員会の予算が少ないので活動が限られてしまう。青少年奉仕委員会や国内社会奉仕委員会と合同で奉仕活動をした方が良いのではないかと。「奉仕についてボーダーは無い」との意見でした。
- ・ロータリーは単年度なので多方面の奉仕を各個別にするのが常だが、そうではなく統一する時期に来ているのではないかと。
- ・せっかく委員になってもロータリーは単年度なので、委員会の内容を理解する前に次年度で別の委員になってしまう。2、3年は同じ委員会で活動して委員会活動の理解を深めるべきではないかと。
- ・他の委員会と共同で事業することでクラブ内の横の人間関係を確固たるものにする。

7、ゼネラルリーダー講評：

森 職業奉仕担当理事

皆さんお疲れ様でした。討議有難うございました。今月号の「ロータリーの友」に「皆さんの活動、実はそれは職業奉仕かも？」というキーワードがありました。職業奉仕委員会で

「わが社で嬉しかった話」を集めました。まさしくこのキーワードのことがたくさん書かれてあり、私はとても感動致しました。皆さんそれぞれの業種でこのような事が日常茶飯事で起こっており、この日常茶飯事の事が職業奉仕に繋がっていくのではないかと思います。

本日は本当に有難うございました。

8、閉会挨拶：三原副会長

本日は多数の皆様にご参加頂きまして、本当に有難うございました。私が入会しました時に紹介者である米倉会員から「ロータリーを楽しむにはクラブフォーラムとクラブ協議会に出席しておいた方が良い」と教えて頂きました。入会時の会長でありました鈴木元会長にも同様のお話をお伺いしたように思います。皆様方は基本的には職業人でいらっしゃると思いますので、この職業奉仕が一番身近で奉仕しやすいかなと思います。ただ、非常に予算が低く、私が幹事をさせて頂いた時から変わらないのでずっと前年度の踏襲でここまでできているのかなと思います。次年度の草島年度でこの辺りを改革して頂ければ非常に充実した職業奉仕になるのではないかと思います。クラブフォーラムはあと2回、3月と5月に予定されております。たくさんのご参加を宜しくお願い致します。

本日はどうも有難うございました。

(文責： 副幹事 八ッ橋 直)

1月定例理事会

協議事項

1. シンガポール国際大会ツアーについて
2. 第2回新入会員交流懇親会
3. クラブフォーラム（社会奉仕）開催の件

審議事項

1. 春の家族会について
2. 退会届の件
3. 衛星クラブ事業宍粟市の件
4. 職場見学バスの件

報告連絡事項

1. 地区補助金事業決算報告
2. 第2回クラブアセンブリー開催の件
3. クラブフォーラム（職業奉仕部門）出席状況及びテーブルマスター
4. 出前授業の件
5. 会員増強報告
6. ゲスト例会の件
7. IM 第4組ロータリーデー、フレッシュロータリアン研修交流会登録状況
8. 地区 RAC 献血の件
9. ニコニコの件
10. 今後のテーブル割の件
11. 平岡会員学園葬の件
12. その他

わが社で嬉しかった話

この度、職業奉仕委員会アンケート「わが社で嬉しかった話」第2回にご協力ありがとうございます。

尚、沢山皆さまからご回答いただきましたので、2回に分けてご紹介させていただきます。

- 奥村 安正 会員から ・2020年に弊社創業100周年を迎えました。100年企業の仲間入りができることに喜びを感じ、長きにわたり事業を続けて来られたのは皆様のおかげと感謝しております。
ただ、コロナ禍で予定していた記念行事ができなかったことが残念です。
- 佐伯 正実 会員から ・インドネシアでの発電所建設期間において、毎日2、3度は停電し、高速道路も真っ暗の時もありましたが、発電所が少しずつ運転を開始するにつれ、停電の頻度が下がり、中心街の夜も明るくなり、レストランがお客さんで賑わう様になった時は、やりがいのある仕事だと実感し、嬉しく、誇らしく思いました。
- 島本 恭次 会員から ・毎年台風シーズンには停電することがある。最近では大雨の時もあぶない。そのような時には社員は前日から待機する。そして風が止んで安全に作業できるとなると、停電の復旧に走る。家々の灯りが灯る。「点いて良かったわ」「エアコン止まって暑くてたまらなかった、助かった」の声がテレビでも放送される。その時、いつも嬉しい。
- 田中 睦之 会員から ・コロナ禍も収束の兆しがみえ、円安の効果も加わって外国からの旅行客がこのミナミに訪れてきます。自社の商品である包丁を買い求められて母国で、日本の伝統的な包丁の切れを実感していただく事がとても嬉しいです。

- 山崎 藍子 会員から ・デザインして出来上がったジュエリーをお客様に気に入っていただける時ももちろん嬉しいのですが、代々大切に受け継がれた宝石を、愛用される方のライフスタイルにあわせてデザインをご提案し、一緒に考え選び出来上がった時に喜んでいただける笑顔を拝見できる時が、何よりも嬉しいひと時です。先日、お父様のカフスをイヤリングへとリフォームしたお客様が、耳たぶに着けて鏡をご覧になった時に「お父さんが傍で見守ってくれているようで嬉しいです。」と涙を浮かべられて、私も号泣。有り難いお仕事です。
- 横尾 国治 会員から ・当社は温暖化の原因となる炭酸ガスの吸収量が多く早く成長する早生植林材を主に商っております。また国産材早生樹センダンを荒廃農地に植林して緑化する奉仕活動を毎年実行しています。この件を卓話で紹介したところ当クラブの70周年記念事業に取り上げていただき、2023年3月50人以上の当クラブのロータリーファミリーに方々に参加して頂き植樹会を開催出来た事は大きな慶びでした。
- 米田 秀弥 会員から ・ドローンビジネスを立ち上げた当初、活用事例作りを目的に大阪商工会議所が公募する実証実験に応募しました。大阪城の石垣点検のための測量等3つの実証を計画したところ、大阪城の管理組織との調整をシステム会社とSE社員と半年間資料説明と計画修正を行い、ようやく許可を得ることが出来ました。当日は測量メンバーの他、応援社員による現地安全管理対応、広報によるメディア対応で、何とか成功しました。結果は大商主催のセミナーで発表したところ大変好評いただき、いろんな会社とビジネス連携のきっかけになりました。一から作り上げた社員、周りで応援してくれた社員に感謝しています。
- 米倉 彦之 会員から ・日米と中国との政治関係は厳しい状況が続く。経済面でもお互いに規制が拡大している。しかし、分断は我々の生活に混乱を及ぼし、両国の関係をさらに悪化させる。
我社は仕事を通して今まで培った関係を駆使して、納期、価格、品質に満足できる商品を提供し続け、日本の発注者からも、中国のメーカーからも感謝され、少しでも両国の関係の維持や日本の社会インフラの役に立っていること。
日本が技術大国と言われて世界を席卷した記憶が薄れつつあるのはさみしい。
私は工学部出身ですが技術者として社会に貢献できなかつた。今、私ができることは工学研究事業を応援することと考え、大学に研究目的で寄付しました。

◇ようこそ4君！会員総数182名（1月23日現在）

去る11月21日（火）に高橋 諭吉君、12月12日（火）に宮川 大作君、1月23日（火）に一瓢 豊君、谷村 一行君が入会されました。

下記凡例は①入会年月②生年月日③職業分類④勤務先と役職名、連絡先住所⑤不在時連絡人⑥自宅住所⑦推薦者⑧家族名前⑨メールアドレスです。



高橋 諭吉
Takahashi Yukichi
① 令和5年(2023)11月
② 昭和59年(1984)9-15
③ 化学工業
④ 日本ベトロ㈱
取締役
北区梅田1-2-2-1000
☎530-0001 ☎(6346)0056
☎(6346)0066
⑤ 携帯:080(6465)1780
⑥ 箕面市桜ヶ丘1-10-24
☎562-0046 ☎080(9465)1780
⑦ 酒井康生・青山総一郎
⑧ y.takahashi@nt-group.jp



宮川 大作
Miyagawa Daisaku
① 令和5年(2023)12月
② 昭和51年(1976)3-3
③ 団体
④ ㈱Bond
代表取締役
中央区北浜2-1-23-B1F
☎541-0041 ☎(6228)3887
☎(6228)3888
⑤ 店舗:(6222)2287
⑥ 大阪市東成区中木3-4-34
☎537-0022 ☎090(7100)9699
⑦ 佐藤研・山本博史
⑧ miyagawa@bond-botanical.jp



一瓢 豊
Ippyo Yutaka
① 令和6年(2024)1月
② 昭和35年(1960)1-1
③ 設備工業
④ ㈱きんでん
常務執行役員
北区本庄東2-3-41
☎531-8550 ☎(6375)6282
☎(6375)6377
⑤ 大阪営業本部 吉岡宏貴:6375-6282
⑥ 吹田市古江台1-14-8
☎565-0874 ☎06(6872)6820
⑦ 藤井眞澄・菅真司
⑧ ippyou_yutaka@kinden.co.jp



谷村 一行
Tanimura Kazuyuki
① 令和6年(2024)1月
② 昭和50年(1975)1-30
③ 建設業
④ EUREKA works ㈱
代表取締役
大正区南恩加島5-5-2
☎551-0021 ☎(6964)8111
☎(6964)8112
⑤ 携帯:090(3824)1313
⑥ 大阪市中央区安堂寺町2-3-8
マスタワー安堂寺2102
☎542-0061 ☎06(6767)1313
⑦ 中村剛・山本和良
⑧ tanimura@curecka-works.co.jp

ニコニコ箱へ

10番テーブル から ・先週の懇親会の余りを少しですが、ニコニコさせていただきます。

14番テーブル から ・山本博史テーブルマスターによるテーブル懇親会非常に盛り上がりました。次回もお願いします。

川田 貴亮 会員から ・I'm back here!!

木本 利宗 会員から ・2月6日の⑤テーブル懇親会の残金をニコニコさせていただきます。

小畑 剛平 会員から ・先週のフォーラム後の二次会残金ニコニコします。

菰田 哲也 会員から ・6番テーブル懇親会ニコニコさせていただきます。

- 小川 成子 会員から ・職業奉仕委員会の取り組みとして2月8日に城南学園小学校に出前授業を実施しました。大変貴重な機会をいただきありがとうございました。中村会長はじめ多くの皆様に応援にかけつけていただき重ねてありがとうございました。
- 奥村 安正 会員から ・本日あまりいいお話が出来ませんが、お許してください。
- 米田 秀弥 会員から ・うっかりバッジ忘れました。
・先日テーブル懇親会でセンタラグランドホテル大阪32Fの「ウイスキーノヴァ」に伺いました。料理も景色もサービスも良くコスパ最高で楽しい時間を過ごしました。中川さんありがとうございました。

本年度目標額 600万 1月 23日現在 累計4,543,911 円